

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当ありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっています。

3. 会計方針の変更

該当ありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	153,255,030	0	0	153,255,030
投資有価証券	148,305,326	127,984	0	148,433,310
小計	301,560,356	127,984	0	301,688,340
特定資産				
地域活性化事業特定預金	4,474,799	5,000,060	6,988,038	2,486,821
奨学金給付事業特定預金	34,600,000	44,803,663	49,803,663	29,600,000
施設貸与事業特定預金	14,024,598	9,587,173	7,957,361	15,654,410
小計	53,099,397	59,390,896	64,749,062	47,741,231
合計	354,659,753	59,518,880	64,749,062	349,429,571

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	153,255,030	(153,255,030)	(0)	(0)
投資有価証券	148,433,310	(148,433,310)	(0)	(0)
小計	301,688,340	(301,688,340)	(0)	(0)
特定資産				
地域活性化事業特定預金	2,486,821	(2,486,821)	(0)	(0)
奨学金給付事業特定預金	29,600,000	(29,600,000)	(0)	(0)
施設貸与事業特定預金	15,654,410	(0)	(15,654,410)	(0)
小計	47,741,231	(32,086,821)	(15,654,410)	(0)
合計	349,429,571	(333,775,161)	(15,654,410)	(0)

6. 担保に供している資産

該当ありません。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	770,040	731,538	38,502

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当ありません。

9. 保証債務等の偶発債務

該当ありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりです。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
利付国庫債券(20年)第138回	98,925,293	116,270,000	17,344,707
利付国庫債券(20年)第138回	49,508,017	58,135,000	8,626,983
合計	148,433,310	174,405,000	25,971,690

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりです。

(国又は地方公共団体等から受け入れた補助金等はありません。)

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地域振興支援事業補助金	(株)十六銀行	4,474,799	5,000,000	6,987,978	2,486,821	指定正味財産
奨学金給付事業補助金	(株)十六銀行	34,600,000	16,000,000	21,000,000	29,600,000	指定正味財産
合計	計	39,074,799	21,000,000	27,987,978	32,086,821	

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	2,265,325
特定資産受取利息	3,723
民間補助金	34,987,978
合計	37,257,026

13. 関連当事者との取引の内容

該当する取引はありません。

14. 重要な後発事象

該当ありません。